学校番号	１１０１

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	住環境 CAD Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	建築設計製図　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築製図は、建築空間の構想を図法や規約に沿って図面に表すことである。図面は、設計者が頭に描く構想を具体的な形に示すもので、だれがどのような視点から見てもその意図が正確に伝わるような正確性や客観性が求められる。さまざまな図法や規約に沿って作図することで、設計や施工者が共通に理解し、図面を通して互いにコミュニケーションがとれるようにする。これらの作図作業にコンピューターを利用して行う。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
工業に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築製図の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、環境に配慮し、合理的に建築計画を行い、その技術を適切に活用している。	建築製図に関するさまざまな課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に技術者として適切に判断し、表現する能力を身につけている。	建築製図に関する課題について強く興味・関心を持ち、その改善・向上をめざして自主的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	製図の基本	CAD システムの概要 建築 CAD の種類 建築 CAD の応用 CAD システムの基礎知識	a:基本的な CAD 製図の内容を理解している b:建築と製図が密接に影響していることを考察している c: 興味関心を持ち意欲的に取り組んでいる	行動観察 作品提出 ワークシート	確認テスト 自己評価 レポート	準備態度 振り返りシート
後期	建築製図の CAD	CAD システムの規格 CAD システムの用語 CAD システムによる作図	a:CAD 製図による作品を所定時間内で仕上げることができる b:建築製図が生活に影響していることを考察している c:興味関心を持ち意欲的に取り組んでいる	行動観察 作品提出 ワークシート	確認テスト 自己評価 レポート	準備態度 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度